

一般共通

用語	読み方	定義
圧縮より線	あっしゆくよりせん	丸素線をより合わせた後、圧縮し、外形を小さくしたより線、または成形素線をより合わせたより線。
荒引銅線	あらびきどうせん	伸線に使用する銅線材。
アルミ覆鋼線	あるみふくこうせん	アルミニウムを一様に被覆した硬鋼線。
イ号アルミ合金線	いごうあるみ ごうきんせん	アルミニウムにけい素 約0.5%、マグネシウム 約0.5%を添加し、引張強さを309MPa(31.5kgf/mm ²)以上、導電率52%以上としたアルミ合金。
移動用電線	いどうようでんせん	産業機械、電動工具等移動して使用される機械に用いられる可とう性に富む電線。(例:キャブタイヤケーブル、コードなど)
インバ線	いんばせん	鉄とニッケルの合金で通常の鋼線に比べ線膨張率が小さい線。
渦電流損失率	うずでんりゅう そんしつりつ	ケーブルの遮へい層または金属シースに過電流によって発生する損失の導体損失に対する比率。
エナメル線	えなめるせん	導体に天然樹脂または合成樹脂絶縁塗料を焼き付けた電線。(導体の種類によりエナメル銅線およびエナメルアルミニウム線がある)
温度指数	おんどしすう	JIS C 3003(エナメル線試験方法)の21.の耐電圧試験で求めた耐熱寿命グラフの20,000時間を満たす温度。
がい装(鎧装)	がいそう(がいそう)	ケーブルの使用上機械的強度を補強する場合にシースの上にさらに設けた金属製の保護層。
外装	がいそう	ケーブルの絶縁層より外側に施す保護層の総称。
がい装損失率	がいそう そんしつりつ	ケーブルのがい装に流れる誘導電流によって発生する損失の導体損失に対する比率。
回路損失率	かいろそんしつりつ	ケーブルの金属シースなどまたは遮へい層と対地間に流れる誘導電流によって発生する損失の導体損失に対する比率。
架空き電線	かくうきでんせん	トロリ線に電気を供給するための架空電線。
架空送電線	かくうそうでんせん	支持物(鉄塔)を利用して空中に施設された送電線。
架空地線	かくうちせん	電力線への避雷および遮へいのために支持物(鉄塔)の最上部に張られた電線。
加工硬化係数	かこうこうか けいすう	導体を圧縮形成することなどによって導体抵抗が増加することを考慮した係数。
架渉	かしょう	電線・ケーブルを電柱または鉄塔に吊るす布設方法。
可とう軟銅より線	かとうなんどう よりせん	導体を構成する素線径を細くすることにより、曲げやすくしたより線。
過渡温度変化	かとおんどへんか	電流変化に伴う温度の推移。
過負荷継続時間	かふかけいぞく じかん	ケーブル線路において常時許容電流よりも大きな電流が一時的に流れる時間。
幹線	かんせん	(1)国内を縦断または横断する線路や主要都市を連絡する線路 および国外に通じる極めて重要な線路。 (2)共同アンテナからある地点に対して信号を伝送するための 主要線路。
管路布設	かんろふせつ	地中に埋設された管路内にケーブルを布設する方式。
機器用電線	ききようでんせん	電気機器・電子機器の内部配線に使用する電線。

用語	読み方	定義
気中布設	きちゅうふせつ	ケーブルを空气中に布設する方式。
キャブタイヤケーブル		産業機械、鉱山等で使用される低圧および高圧の
給油管	きゅうゆかん	OFケーブル・POFケーブル用終端接続箱、油止接続箱等と給油槽間の油の流路となる管。
許容最高温度	きょようさいこうおんど	JIS C 4003(電気機器絶縁の種類)の規定による継続して使用できる最高の温度で、経験によって規定された値。
許容電流	きょようでんりゅう	与えられた布設条件で電線・ケーブルに特別な支障を与えることなく流すことのできる電流値。
近接効果	きんせつこうか	交流電流を通電したとき、近接する導体間の電磁相互作用によって見かけ上の交流抵抗が高くなる現象。
口出線	くちだしせん	モーター、発電機、変圧器などの電流の引込みまたは引出しに用いられる電線。
クレードル配置	くれーどるはいち	パイプタイプケーブルや管路布設(1孔3条)において、パイプまたは管路内のケーブルがゆりかご状に並べられた配置方法。
クロスバンド		金属シースまたは遮へい層を3区間ごとに接地し、各々の区間内では各相のシースを交互に接続してシース回路損を低減する接地方法。
計算断面積	けいさんだんめんせき	標準素線径および素線数から計算で求めた断面積。
形状係数	けいじょうけいすう	多心ケーブルにおいて絶縁体の熱抵抗を算出する際に用いられ、ケーブルの形状によって決まる係数。
計装用ケーブル	けいそうようけーぶる	工場、発電所等において温度、圧力、流量、液位等の計測回路に用いられる定格 60V以下のケーブル。
けい銅線	けいどうせん	銅に0.45%以下のすず、0.20%以下の亜鉛、カドミウム、けい素等を添加し、引張強さを向上させ、導電率45%以上とした合金線。
警報線	けいほうせん	ケーブル内への浸水を検知するための線心。
ケーブル		線心の上にシースを施した電線または線心を集合したものの上にシースを施した電線。
高圧引下用絶縁電線	こうあつひきさげようぜつえんでんせん	高圧の架空電線路から柱上変圧器の一次側に至る引下げ用として使用される絶縁電線。
硬アルミニウム線	こうあるみにうむせ	冷間加工で仕上げたアルミニウム線。
硬鋼線材	こうこうせんざい	高炭素硬の線材。
高周波給電線	こうしゅうはきゅうでんせん	送信機で発生した高周波エネルギーを空中線へ、また、空中線で捕えられた電磁波を受信機に能率よく導くために使う電線。
公称線径	こうしょうせんけい	単線の大きさを標準外径で表したもの。(サイズともいう)
公称断面積	こうしょうだんめんせき	導体の大きさを標準断面積で表したもの。(サイズともいう)
公称電圧	こうしょうでんあつ	任意の電線路を代表する標準の線間電圧。
鋼心アルミニウムより線(鋼心アルミより線)	こうしんあるみにうむよりせん	鋼線類(亜鉛めっき鋼線、アルミめっき鋼線、アルミ覆鋼線)の周囲に硬アルミニウム線をより合わせた線。(『ACSR』ともいう)
合成より線	ごうせいよりせん	2つ以上の材料の素線を用いたより線。
硬銅線	こうどうせん	冷間加工で仕上げた銅線。
高力アルミ合金線	こうりきあるみごうきんせん	アルミニウムに微量の鉄、マグネシウム、銅等を添加し、引張強さが218MPa(22kgf/mm ²)以上、導電率が53%以上としたアルミ合金線。

用語	読み方	定義
交流導体抵抗	こうりゅうどうたい ていこう	導体に交流を流した場合の見かけ上の実効抵抗。
コード		導体上に絶縁被覆を施し、可とう性を有する定格300V以下の電線。
最高許容温度	さいこうきょよう おんど	(1) 電線等で材料面から許容される最高温度。 (2) 絶縁体等の性能を保持するのに許容し得る最高温度。
最大線幅	さいだいせんはば	導体セグメントの肩から肩までの直線長。
市外電話回線	しがいでんわ かいせん	中・長距離の電話局(中心局以上)相互間を結ぶ中継回線。
C合金線	しーごうきんせん	銅に0.5~10.0%のけい素と2~4%のニッケルを添加し、引張強さを向上させた合金線。
支持線	しじせん	架空配線用のケーブルでケーブル本体と一体化して使用され、風圧およびケーブル本体自重等の応力を分担するもの。(使用する材料は、鋼線または鋼より線等。)
シース		保護する目的で線心上または線心より合わせ上に施した被覆。(使用する材料は、クロロプレンゴム、ビニル、ポリエチレン、鉛、アルミニウム等)
シース損失率	しーすそんしつりつ	金属シースまたは遮へい層において発生する損失(回路損失と過電流喪失)の導体における発生損失に対する比率。
実回線	じつかいせん	音声電話あるいは搬送電話の回路方式において導線2本によって構成されている回線。
市内電話回線	しないでんわ かいせん	電話局と加入者を結ぶ加入回線および同一所属区域内の電話局相互間を結ぶ中継回線。
シモンズ曲線	しもんずきょくせん	2、3心ケーブルの絶縁体の熱抵抗を算出する場合に使用する形状係数を読み取るための簡易的なグラフ。
遮へい層	しゃへいそう	絶縁体上、半導電層または線心より合わせ上に導電材料で電氣的遮へいを行う目的で設ける層。
重信回線	じゅうしんかいせん	音声電話あるいは搬送電話の回路方式において、実回線を2回線使って、さらにもう1回線を構成する回線。
瞬時許容電流	しゅんじきょよう でんりゅう	数秒以内の極めて短い時間を対象にした許容電流。
常時許容温度	じょうじきょよう おんど	通常の線路運転時に許容し得る導体の最高温度。
常時許容電流	じょうじきょよう でんりゅう	導体の温度を常時許容温度以下にするために許容し得る最大電流。
商用軟銅	しょうようなんどう	市場で取引されている一般の軟銅。
信号用ケーブル	しんごうよう けーぶる	鉄道の信号保安制御回路用に使用するケーブル。
制御用ケーブル	せいぎょよう けーぶる	600V以下の電氣的制御回路に使用するケーブル。
整合	せいごう	電力を伝達する際に接合点で反射が生じないようにインピーダンスを調整すること。
絶縁階級	ぜつえんかいきゅう	絶縁設計を行うために系統ごとに最高電圧を決める階級。
絶縁体	ぜつえんたい	電圧に耐えて電流が外部に漏れるのを防ぐため、導体上に施した層。
絶縁電線	ぜつえんでんせん	導体を絶縁体で被覆した電線で、一般的にシースを有しないものの総称。
絶縁油	ぜつえんゆ	紙絶縁ケーブルにおいて紙の隙間を充填し、絶縁強度を高めるために用いられる油。

用語	読み方	定義
遷移点温度	せんいてんおんど	鋼線とアルミニウム線またはアルミ合金線の合成より線において、それぞれの線膨張係数の違いから一方の分担張力がゼロになる臨界点温度。
線間最高電圧	せんかんさいこうでんあつ	絶縁設計に用いられる最大の線間電圧。
線心	せんしん	絶縁体を施した導体でケーブルを構成する要素または半製品。
占積率	せんせきりつ	導体部の包絡円の全面積に対する導体素線の占める面積の割合。
装荷方式	そうかほうしき	ケーブルの一定間隔に装荷線輪を挿入して音声信号の減衰を防ぎ遠距離通信を行う方式。
損失率	そんしつりつ	日間に負荷変動がある線路においてケーブル周囲の熱抵抗を見かけ上、低減する係数。
耐火電線 (耐火ケーブル)	たいかでんせん (たいかけーぶる)	火災時においても規定時間中、機能を損なわないような耐火層を備えたケーブル。
耐熱アルミ合金線	たいねつあるみ ごうきんせん	アルミニウムに微量のジルコニウム等を添加し、耐熱性を向上させたアルミ合金線。
耐熱硬銅線	たいねつこう どうせん	銅に0.08%以上の銀を添加し、耐熱性を向上させた硬質の銅合金線。
耐熱電線	たいねつでんせん	火災時においても規定時間中、機能を損なわないような耐熱層を備えた電線・ケーブル。
対流放熱	たいりゅうほうねつ	流体の対流によって生じる放熱。
俵積	たわらづみ	3条のケーブルを互いに接触させて三角形に布設させる配置。
単一より線	たんいつよりせん	同一材料の素線を用いたより線。
短時間許容電流	たんじかんきょよう でんりゅう	他線路の事故時などで一時過負荷送電を必要とする場合の限度を表す電流。
短絡時許容電流	たんらくじきょよう でんりゅう	系統故障時に、その系統の短絡電流が導体に流れた場合の限度を表す電流。
地中送電線路	ちちゅう そうでんせんろ	地中(洞道、管路内、直接埋設)に布設されている送電線路。
弛度	ちど しど	電線またはケーブルを架設した場合のたるみ量。
ちょう架	ちょうか(が)	ちょう架線(カテナリーワイヤ)に電線(トロリ線など)を吊り下げること。
直埋布設	ちよくまいふせつ	地中にケーブルを直接埋設する方式。
直流導体抵抗	ちよくりゅうどうたい ていこう	ケーブル導体の直流における抵抗。
通信ケーブル	つうしんけーぶる	電話・データ・映像信号等の伝送路として使用されるケーブル。
低塩酸ビニル	ていえんさんびに る	燃焼させた場合の塩化水素(HCl)ガスの発生を150mg/以下に低減させたポリ塩化ビニル(PVC)
定質量温度係数	ていしつりょう おんんどけいすう	電気抵抗の1℃当たりの変化率。(標準軟銅は、 $0.00393^{\circ}\text{C}^{-1}$ である。)
鉄損係数	てっそんけいすう	交直抵抗比において鉄損に依存する係数。
電線	でんせん	(1) 電気を導くために用いる裸線、絶縁電線、ケーブル、コード等の総称。(広義) (2) 絶縁電線。(狭義) (形状としては、丸形や平形などがある。)

用語	読み方	定義
同軸ケーブル	どうじくけーぶる	円筒状の外部導体とその中央にある中心導体によって構成されるケーブル。
導体	どうたい	電流を流すための構成部分。(通常、銅またはアルミが用いられる。)
洞道	どうどう どうどう	多条数のケーブルを収納するためのトンネル。
銅覆アルミ線	どうふくあるみせん	銅を一様に被覆したアルミニウム線。
銅覆鋼線	どうふくこうせん	銅を一様に被覆した硬鋼線。
土壌固有熱抵抗	どじょうこゆう ねつていこう	ケーブルが布設されている周囲の土壌の熱の流れにくさを表した定数。
トラフ		ケーブルの外傷防止並びに火災時の着火防止、延焼防止のためにケーブルを収納する直方体の箱。
トロリ線	とろりせん	電車、クレーン等の摺動子と接触し、電気を供給する線。
軟アルミニウム線	なんあるみにうむ せん	焼鈍し、軟質化させたアルミニウム線。
軟銅線	なんどうせん	焼鈍し、軟質化させた銅線。
日射量	にっしやりょう	太陽光の日差しによるエネルギー量。
熱抵抗	ねつていこう	ケーブル各部から発生した損失が、ケーブル各部位および土壌などを通過する際の熱の流れにくさを表す数値。
熱放射係数	ねつほうしゃ けいすう	単位温度、単位表面積当たりの導体表面からの熱放射量を表す係数。(対流または風による係数および熱放射による係数からなる。)
パイプ損失率	パイプ損失率	パイプ形OFケーブルまたは鋼管内に布設されるケーブルにおいて、パイプまたは鋼管で発生する損失の導体損失に対する比率。
裸線	はだかせん	絶縁被覆をしていない単線およびより線。
バックフィル		土壌固有熱抵抗を低減するために、埋設ケーブル周囲の土壌を低い熱抵抗を有する土壌に入れ換えること。
バルブパネル		OFケーブルと給油槽の間に設置され、給油回路の切替および油の充填等に使用する装置。
半硬アルミニウム線	はんこうあるみ にうむせん	硬アルミニウム線と軟アルミニウム線の間隔的な強度を持つアルミニウム線。
半硬銅線	はんこうどうせん	硬銅線と軟導線の間隔的な強度を持つ銅線。
光ファイバ複合 架空地線	ひかりふあいばふく ごうかくうちせん	電力線への避雷および遮へいのために支持物(鉄塔)の最上部に張られた電線で中心部に光ファイバを内蔵したもの。(「OPGW」ともいう。)
引込線	ひきこみせん	需要家へ引込み用として使用する線。
非(非がい装) ケーブル	ひ(ひがいそう) けーぶる	鉄線、鉄帯、コルゲートスチール等のがい装を施さないケーブル。
被覆	ひふく	押出またはその他の方法で施した層。
標準軟銅	ひょうじゅんなんど う	IECで定められた導電率の基準となる軟銅。
表皮効果	ひょうひこうか	ケーブル導体に交流が流れる場合、導体内の電流密度の分布が一樣ではなく、中心部が疎、導体表面に近づくほど密となる現象。
表皮効果係数	ひょうひこうか けいすう	交直抵抗比において表皮効果に依存する係数。

用語	読み方	定義
表面放散熱抵抗	ひょうめんぼうさん ねつていこう	ケーブル表面(あるいは金属被付ケーブルのような空隙を有する構造のケーブルにおける空隙下のケーブル表面)からの熱放散のしにくさを表した数値。
平編銅線	ひらあみどうせん	軟銅線またははずめつき軟銅線を断面矩形に編組したもの。
平角線	ひらかくせん	導体の断面が長方形の電線。
平積	ひらづみ	ケーブルを布設する際に、横方向に一列に配置する方式。
複合ケーブル	ふくごうけーぶる	2種類以上の構造の異なる線心によって構成されるケーブル。
複合横巻線	ふくごうよこまき せん	エナメル線に繊維、テープ等を横巻した電線。(エナメル綿巻銅線、エナメル絹巻銅線、エナメルガラス銅線などがある。)
輻射係数	ふくしゃけいすう	熱放射の度合いを表す係数。
袋打ちコード	ふくろうちこーど	下打ち編組またはゴム引布テープを施した線心をより合わせた後、綿糸等の外部編組を施したコード。
船用電線	ふねようでんせん	船に配置される電線。(シース上にあじろがい装が施されている電線など。)
プーリングアイ		ケーブルの布設を容易にするためにケーブル末端に取り付けられる延線金具。
分岐線	ぶんきせん	幹線の途中より分岐している線。
分配線	ぶんぱいせん	幹線または分岐線の途中より分配している線。
保安通信線	ほあんつうしんせん	一般に設備の給電用、運転用、保守用等、並びにこれらの業務運営用のための電話用通信線。
放射率	ほうしゃりつ	電線の熱放散の輝度と同温度の黒体の熱放散の輝度との差。
防食剤	ぼうしょくざい	電線の腐食を防止するために電線に充てんする油脂。
防食層	ぼうしょくそう	金属層の腐食を防止するために施した層。(使用する材料は、ビニルまたはポリエチレン等。)
包絡円径	ほうらくえんけい	トリプレックス形ケーブル等で、線心をより合わせた後の各線心の外接円の直径。
母線	ぼせん	変電所等において電力供給のために引き通した線。
巻線	まきせん	エナメル線および横巻の総称。
丸打ちコード	まるうちこーど	下打編組またはゴム引き布テープを施した線心を所要条数、介在と共により合わせた後、綿糸等で外部編組を施したコード
みぞ付きトロリ線	みぞつきとろりせん	吊り金具止め用のみぞを有した電車用等の給電線。
無装荷方式	むそうかほうしき	ケーブル中の一定間隔に装荷線輪を入れて減衰量を最小にする代わりに中継器を入れることにより、広帯域(多重化)でかつ遠距離の通信を行う方式(搬送方式)。
有線放送用ケーブル	ゆうせんほうそう ようけーぶる	有線放送用電話線路として使用することを目的としたケーブル。
誘電体損失	ゆうでんたい そんしつ	課電時に絶縁体中で発生する損失。
横巻線	よこまきせん	導体の長さ方向に対し繊維、テープなどをらせん状に巻き付けた電線。(導体の種類・形状により横巻銅線、横巻平角銅線、横巻アルミニウム線、横巻平角アルミニウム線がある。)
連続許容電流	れんぞくきょよう でんりゅう	常時連続使用可能な許容電流。